

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 5 月 26 日

静岡地方裁判所沼津支部民事部

裁判所書記官 大塚和利

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 6 月 25 日 午前 8 時 30 分から 令和 7 年 7 月 2 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 7 年 7 月 9 日 午前 10 時 00 分 場 所 静岡地方裁判所沼津支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 7 月 30 日 午前 10 時 00 分 場 所 静岡地方裁判所沼津支部民事部
特別売却 実施期間	令和 7 年 7 月 10 日 午後 1 時 00 分から 令和 7 年 7 月 11 日 午後 3 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。 ただし、特別売却については、現金又は(1)による。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるため、権限を有する行政庁が交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを本日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。 特別売却の買受申出先は、当庁執行官。申出価額は買受可能価額以上の金額で、先着順 (電話・郵送申出不可。同時の場合は高額の方、同額は別途基準で)。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	3, 190, 000 2, 552, 000	一括	638, 000	28, 618	6, 653
1	570, 000				
2	2, 620, 000				
				</	



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 伊東市八幡野字峠 |
| | 地 番 | 1 7 5 9 番 6 9 9 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 1 3 . 4 5 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 伊東市八幡野字峠 1 7 5 9 番地 6 9 9 |
| | 家屋 番号 | 1 7 5 9 番 6 9 9 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 6 1 . 0 0 平方メートル
2 階 6 1 . 0 0 平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 7年 4月 9日

静岡地方裁判所沼津支部民事部

裁判所書記官 大塚和利

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 伊東市八幡野字峠 |
| | 地 番 | 1 7 5 9 番 6 9 9 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 1 3 . 4 5 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 伊東市八幡野字峠 1 7 5 9 番地 6 9 9 |
| | 家屋 番号 | 1 7 5 9 番 6 9 9 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 6 1 . 0 0 平方メートル
2 階 6 1 . 0 0 平方メートル |



令和 6年(ケ)第 81号
令和 6年10月 8日受理
令和 6年11月 8日提出

現況調査報告書

静岡地方裁判所沼津支部

執行官 良 村 和 徳 (印)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 伊東市八幡野字峠 |
| | 地 番 | 1 7 5 9 番 6 9 9 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 1 3 . 4 5 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 伊東市八幡野字峠 1 7 5 9 番地 6 9 9 |
| | 家屋 番号 | 1 7 5 9 番 6 9 9 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 6 1 . 0 0 平方メートル
2 階 6 1 . 0 0 平方メートル |



不動産の表示	「物件目録」のとおり			
住居表示	(住居表示未実施)			
土地	物件1			
現況地目	☒ 宅地 (物件1) ☐ 公衆用道路 (物件) ☐ (物件)			
形状	☒ ほぼ公図のとおり ☒ 地積測量図のとおり ☒ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 建物配置図のとおり ☐			
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者A ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり			
下記以外の建物 (目的外建物)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外建物の概況」のとおり)			
その他の事項	別紙「その他の事項」記載のとおり			
建物	物件2			
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:			
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類: 構造: 床面積:			
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者A ☐ その他の者 上記の者が家族と共に本建物を居宅として使用している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり			
上記以外の敷地 (目的外土地)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)			
その他の事項	別紙「その他の事項」記載のとおり			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 平成 年 () 第 号 保管開始日 平成 年 月 日			
土地建物の位置関係	☒ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 建物配置図のとおり			

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

そ の 他 の 事 項

- 本件土地には、老朽化しているウッドデッキが存する。
- 本件建物内は、壁や床が破損している箇所が散見される。
- 前面道路は、幅員約3～4メートルの認定外道路である。(建築基準法第42条2項道路)
- 本件物件に係る供給施設・公法上の規制の概要等については、評価書中の記載を参照されたい。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
☒ B (所有者Aの母親)	1 私は、本件土地建物の所有者Aの母親です。 2 Aは、現在、他県にて仕事をしていますので、本日の調査には立ち会えません。 3 本件建物は、A以外に私と私の娘（Aの妹）及び私の孫（Aの子（3人））が居宅として使用しています。 4 建物内について、雨漏りはないですが、各所で傷んでいるところがあったり、壁に大きい穴が空いているところがあります。 5 亡夫と息子Aが造ったウッドデッキがありますが、現在は、老朽化しております。

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
6年10月8日 (火)	執行官室	間取図交付請求 (郵送) 伊東市役所
6年10月9日 (水) 16:30-16:40	静岡地方法務局沼津支局	隣接土地等の全部事項証明書申請
6年10月16日 (水) 12:30-12:45	物件所在地	現地確認、外観写真撮影、占有関係調査
6年10月22日 (火)	執行官室	所有者Aに対し、占有関係照会書送付 (郵送) 返信用封筒付き 書面による回答あり
6年11月1日 (金) 10:00-10:40	物件所在地	占有関係調査、立入調査、写真撮影、評価人同行、境界調査、所有者Aの母親Bと面談

(特記事項)

■ 令和6年11月1日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

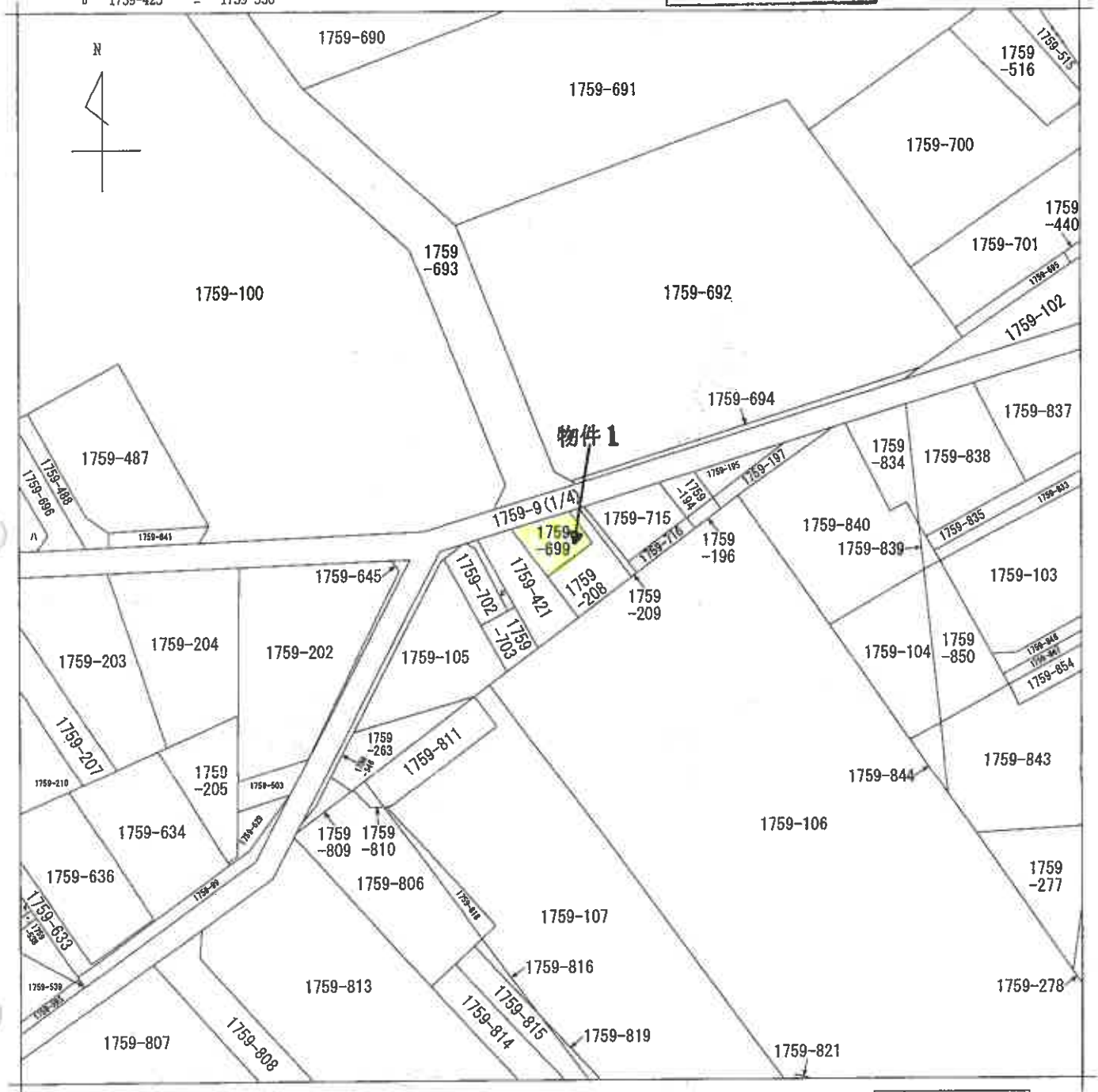
☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

☐

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

イ 1759-575 ハ 1759-482 * 1759-594
ロ 1759-425 ニ 1759-550

A3をA4に縮小



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番
区域見出
八幡野

請求部	所在	伊東市八幡野字峠				地番	1759番699			
出力縮	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日					備付年月日(原図)	昭和56年1月28日		補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

(静岡地方方法務局熱海出張所管轄)

令和6年8月15日

東京法務局台東出張所

登記官

請求番号: 19-1

(1/1)

(6枚目)

815159

地 積 測 量 図

地 番 1759-208²⁰⁸

土地の所在 伊東市八幡野字峠

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
(伊東地方方法務局然海出張所管轄)
令和6年8月15日 東京法務局伊東出張所 登記官

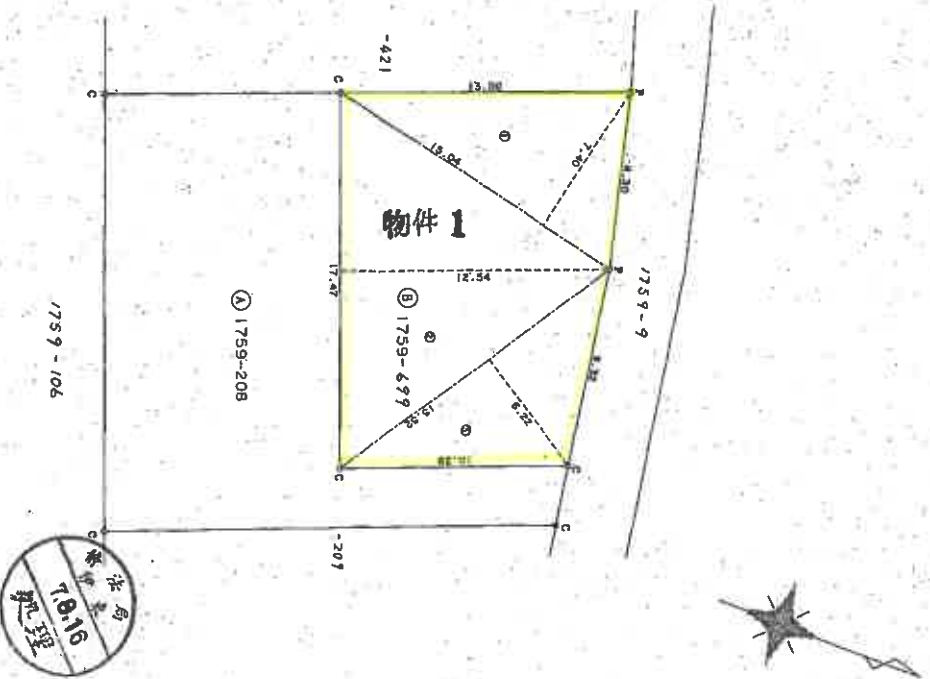
A3をA4に縮小

伊東市土地家屋調査士会会員指定用紙

三 斜 交 測 量 表

地番	① 1759-699	② 1759-208	③ 1759-106
NO.	1	2	3
面 積	15.04	17.47	15.52
延 べ 面 積	7.40	12.54	6.22
延 べ 面 積	111.2960	219.0738	96.5344
延 べ 面 積	426.9042	213.45210	213

測量番号	① 1759-208	② 1759-699	③ 1759-106
公 積	457.00	213.45	243.55
公 積		243	243



作 製 者 伊 東 市 土 地 家 屋 調 査 士 会 会 員 指 定 用 紙

測量機略号 S...石杭, C...コンクリート杭, P...プラスチック杭, R...金属杭, M...釘, RM...金釘 (単位m)

申 請 人

縮尺 1/250

登記年月日：平成10年8月11日

887941

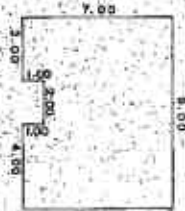
各階平面図

建物図面
各階平面図

家庭番号 1759-699

建物の所在 伊東市八幡野字柿1759番地699

1・2階同窓



収容表

3.00 × 6.00	54.0000
3.00 × 1.00	3.0000
4.00 × 1.00	4.0000
計	61.0000

床面積 61.00㎡

静岡県土地家屋調査士会議員指定用紙

建物図面
土地家屋調査士
(平成 10)

縮尺 1/250

申請人

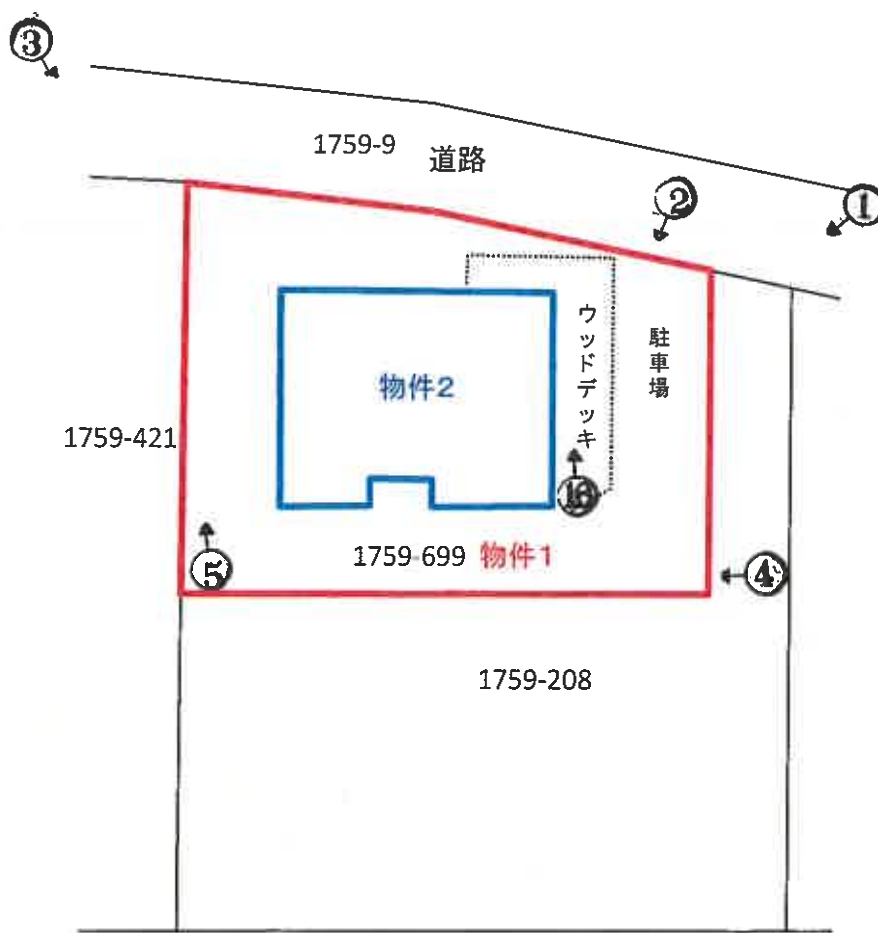
縮尺 1/500



A3をA4に縮小

これは図面に記録されている内容を証明した図面である。
(静岡県地方税務局熱海出張所管轄)
令和6年8月15日 東京法務局(東京出張所)

建物配置図



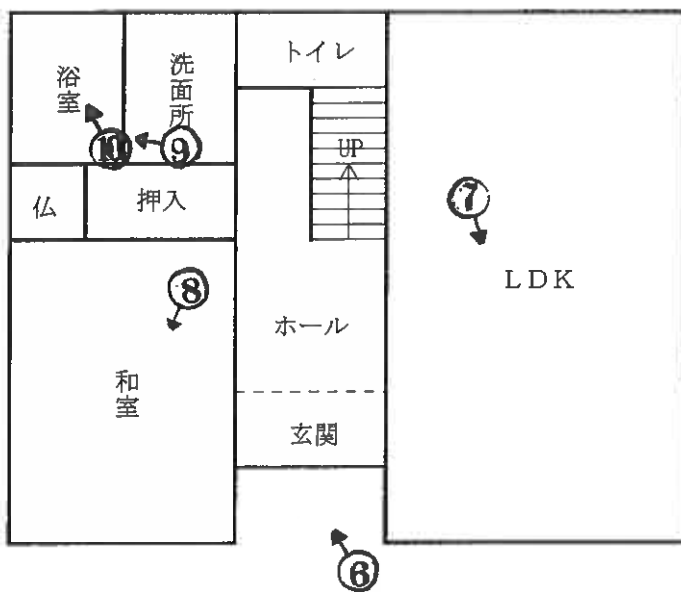
※公図、地積測量図、建物図面等を基に現地調査を踏まえて作成した概略図であり、現況と相違する可能性がある。

(9 枚目)

間取図 物件 2



1 階



2 階

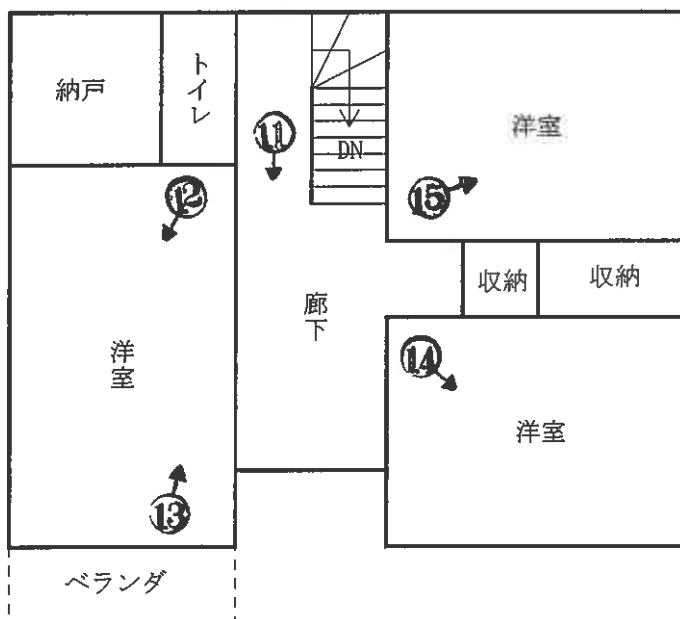


写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5



写真 6



写真 7

建物内の状況



写真 8

建物内の状況



(14 枚目)

写真 9

建物内の状況



浴槽ドア破損箇所

写真 1 0

建物内の状況



写真 1 1

建物内の状況



写真 1 2

建物内の状況



(16 枚目)

写真 1 3

建物内の状況



壁破損箇所

写真 1 4

建物内の状況



(17 枚目)

写真 1 5

建物内の状況



写真 1 6

ウッドデッキ



令和 6 年（ケ）第 81 号
令和 6 年 11 月 1 日現地調査
令和 6 年 11 月 8 日 評 価

静岡地方裁判所沼津支部 御 中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

海野 克明 印

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 伊東市八幡野字峠 |
| | 地 番 | 1 7 5 9 番 6 9 9 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 1 3 . 4 5 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 伊東市八幡野字峠 1 7 5 9 番地 6 9 9 |
| | 家屋 番号 | 1 7 5 9 番 6 9 9 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 6 1 . 0 0 平方メートル
2階 6 1 . 0 0 平方メートル |

第1 評価額

一 括 価 格	
金 3, 1 9 0, 0 0 0 円	
内 訳 価 格	
物件 1 (土地)	金 5 7 0, 0 0 0 円
物件 2 (建物)	金 2, 6 2 0, 0 0 0 円

- 1 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の土地の内訳価格は物件2の建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。
- 5 上記評価額は引受債務相当額を控除する前の価格である。

第3 目的物件

番号	登 記	現 況
1	物件目録記載のとおり	
2	物件目録記載のとおり	
特 記 事 項		
・ 物件1の土地の上に物件2の建物が存する。		

※ 現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ。

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	伊豆急行線「伊豆高原」駅の北東方 直線距離約2.2km (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	一般住宅、別荘住宅等が建ち並ぶ、やや起伏の見られる住宅地域	
主な公法上の 規 制 等 (道路の幅員等 の個別的な規制 を考慮しない一 般的な規制)	都市計画区分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	非線引都市計画区域 用途無指定 60% 200% — 宅地造成工事規制区域、自然公園（普通地域）
画 地 の 状 況	地 積 形 状 間 口 ・ 奥 行 地 勢 接 道 状 況 そ の 他	213.45㎡（登記地積） ほぼ長方形 間口約17.6m、奥行約10.6～13.5m 本件土地は概ね平坦（但し若干の高低差あり） 広域的には複合的な傾斜・高低差等あり 北西方路面より約0～1.5m程度高く接面する中間画地 特記事項参照
接 面 道 路 の 状 況	北西側幅員約3～4m程度の舗装道路（建築基準法上の道路）	
土 地 の 利 用 状 況	現況利用…物件2の建物の敷地 目的外建物の有無…無	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 あり ガ ス 配 管 なし 下 水 道 なし (注) 供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管（以下、施設管という）が通っており、通常の費用で敷地内への引き込みが出来る状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引き込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は配置されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。	

特 記 事 項	・周辺地域は富士箱根伊豆国立公園（普通地域）である。 ・本件土地の北西側道路は伊東市が管理する認定外道路である（地番：1759番9、地目：原野、所有者：伊東市）。 なお、当該道路は建築基準法42条2項道路であり、幅員が4mに満たない部分についてはセットバックを要する。 対象地前面付近については、アスファルト舗装された路面幅が約3mで、その両端に約0.4～0.5m程度の未舗装空地部分が存する。 ・本件土地（駐車場部分を除く）は北西側道路面より約1～1.5m程度高く、道路との境界付近（当該高低差部分）には石垣が築造されている。 また、駐車場部分は先述道路面と等高であるが、その西側部分（物件2の建物底地となっている部分）は当該駐車場部分より約1.5m程度高く、当該高低差部分には石垣が築造されている。 ・北西側道路の地中に伊東市の上水道本管が埋設されている。 従って本件土地については前面道路から直接上水道を引き込むことが可能と見られるが、現状は東側隣接地（1759番208）を経由して引き込まれているとのことである。このことに関して詳細は伊東市水道課にて確認されたい。 ・その他事項に関しては執行官の現況調査報告書を参照。
---------	---

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び 経済的残存耐用 年数	建 築 年 月 日：平成10年7月31日（登記） 経 過 年 数：約26年程度 経済的残存耐用年数：約 9年程度
仕 様	構 造：木造2階建 屋 根：スレート葺 外 壁：サイディング等 内 壁：クロス等 天 井：クロス等 床 ：フローリング、畳等 設 備：電気、衛生、給排水等 その他：特になし
床面積（現況）	ほぼ登記どおりとみられる
現 況 用 途 等	現況用途：居宅 間 取 り：後添間取図参照
品 等	普通
保 守 管 理 の 状態	普通（一部やや劣る）
建 物 の 利 用 状況	建物所有者及びその家族らが居宅として利用・占有している。 ※ 詳細については執行官の現況調査報告書を確認されたい。
特 記 事 項	・2階西側洋室の内壁の一部に破損部分が見られるほか建物内外 の随所に経年等による汚損が見られる。 ・1階東～北側付近に設置されたウッドデッキは老朽化が窺え、 一部は腐食している可能性がある。

第5 評価額算出の過程

適切な複合不動産の取引事例が収集されず、また、対象物件が居宅とその敷地で収益物件ではないため、比準価格と収益価格は求めず、積算価格より評価額を求めるものとする。

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

物件1の更地価格を算出し、これに建付減価を行って建付地価格を求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個 別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	共 有 持 分 オ	建 付 地 価 格 (円) ア×イ×ウ×エ×オ=カ
1	9,140	0.90	213.45	0.90	—	1,580,000

ア 標準画地価格

地価調査基準地 伊東（県）－3

公示価格等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格

$18,800\text{円}/\text{m}^2 \times 100.2/100 \times 100/103 \times 100/200 \div 9,140\text{円}/\text{m}^2$

◇時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である

◇標準化補正：方位

◇地 域 格 差：公示地等は環境条件等に優る

イ 個 別 格 差：高低差等

ウ 地 積：登記数量による

エ 建 付 減 価：建物と敷地の状態等を考慮した

オ 共有持分：—

② 物件2（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物の価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) ア×イ×ウ÷エ
2	170,000	122.00	0.18	3,730,000

ウ 現 価 率：耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、次のとおり求めた。

経過年数26年、経済的残存耐用年数9年、観察減価30%

(耐用年数に基づく方法) (観察減価法)

現価率 = $9\text{年} \div (9\text{年} + 26\text{年}) \times (1 - 0.30) \div 0.18$

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格（円） ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 （円） ア×イ＝ウ
1	1,580,000	0.4	法定地上権	630,000

イ 土地利用権等割合：物件2の物件1に係る土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を40%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 （円） (1①カ、1②エ) ア	土地利用権等価格の 控除及び加算 （円） (2①ウ) イ	占有減価 修 正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市場 修 正 オ	評価額 （円） (ア±イ) ×ウ ×エ×オ
1	1,580,000	－ 630,000		－	0.6	570,000
2	3,730,000	＋ 630,000	－	－	0.6	2,620,000
一 括 価 格 (合 計)						3,190,000

ウ 占有減価修正：－

エ 市場性修正：－

オ 競売市場修正：第2 評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

1 地価調査基準地価格（伊東－3）

所 在：伊東市富戸字先原1317番3819

価 格：18,800円/㎡

価 格 時 点：令和6年7月1日

地 積：334㎡

供給処理施設：水道

接 面 街 路：南東側4m私道

用途指定等：非線引都市計画区域 用途無指定（60%、200%）

地域の概要：中小規模の別荘を中心とした別荘地域

第7 附属資料

1 位 置 図

2 公 図 写

3 地積測量図写

4 建物配置図

5 間 取 図

以 上

位置図



地積測量図写

登記年月日：平成7年6月16日

815159

地積測量図

地番 1759-208

土地の所在 伊東市八幡野字餘

※A3をA4に縮小



三斜求積表

地番	①	1759-499			
NO.	底	辺	属	宅	積
1		15.04		7.40	111.2960
2		17.47		12.54	219.0736
3		15.52		6.22	96.5344
			総面積		426.9042
			西	地積	213.45210
					m ²

地番	①	1759-208
公簿	面積	積算積
	457.00	213.45
		243.55
		243 m ²

測量図番号 S-208, C-208, P-208, A-208, B-208, D-208, E-208, F-208, G-208, H-208, I-208, J-208, K-208, L-208, M-208, N-208, O-208, P-208, Q-208, R-208, S-208, T-208, U-208, V-208, W-208, X-208, Y-208, Z-208

縮尺 1/250

作製者

作製者

（この図面に記載されている内容は、登記簿上の記載と一致するものと見做す。）
令和6年6月15日 東京地方法院民事部第1部

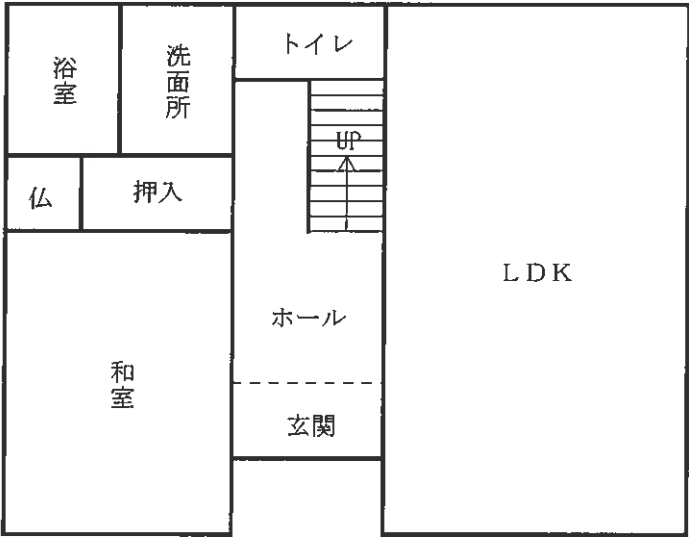
建物配置図



※公図、地積測量図、建物図面等を基に現地調査を踏まえて作成した概略図であり、現況と相違する可能性がある。

間取図
物件 2

1 階



2 階

